

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
地理総合	2	2	
教科書番号・教科書名	副教材		
地理総合706『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』(第一学習社)	「新編 地理資料」(とうほう)		
学習の目標	地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いている。 ・調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【定期考査】 	<p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目している。 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構思したりする力や、考察、構思したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を培っている。 【発問評価、ノート提出、定期考査】 	<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとできる。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を持つことができる。 【授業態度、発問評価】

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1編 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 球面上の世界と地図	①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用 ⑧国家の領域と国境	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続いていることを理解する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	5	2節 国家の結びつきとグローバル化する社会	②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているONSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	6		①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	7	第2編 國際理解と國際協力 1章 生活・文化の多様性と國際理解	③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の中で、人、「モノ」・資本の国際移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	9		①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	10	第2編 國際理解と國際協力 2章 地球的課題と国際協力 1節 持続可能な社会を目指して	③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	11		①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なアイデンティティに持つ世界の人々と共生していくために、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
第2学期	11	2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて	①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	12		①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 ④都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、画面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	1	3節 自然と譲和した豊かな社会に向けて	①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握し、多面的・多角的に考察している。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2		①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解し、身近な認証制度を調べ、まとめることができる。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 2章 生活圏の調査と地域の展望	①地球規模で見る地形の姿と自然灾害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③豪雪地帯の自然と防災 ④湿润地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え ⑥地域調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・沙漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。 ・世界の民族とは、共通の解説基礎（アイデンティティ）を持つ集団であり、世界の多くの国は複数の民族により構成される多民族国家であり、多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば、内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。 ・自然災害の多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、自然現象やこれまで受けしてきた災害の歴史を理解するとともに、先人の知恵が詰まっている、災害に備え、災害と自然災害からの復興を困難にする複合災害について具体的な事例を通して理解し、これまで学んだ対策を組み合わせて備えるために必要 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。 	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
地理総合	2	2	
教科書番号・教科書名	副教材		
地理総合706『高等学校 地理総合—世界を学び、地域をつくる』(第一学習社)	「新編 地理資料」(とうほう)		
学習の目標	地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。		
評価方法	①知識・技能 ・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いている。 ・調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【定期考査】	②思考・判断・表現 ・地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目している。 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を育成している。 【発問評価、ノート提出、定期考査】	③主体的に学習に取り組む態度 ・地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこを見られる課題を主体的に追究、解決しようとできる。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を持つことができる。 【授業態度、発問評価】

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1編 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 球面上の世界と地図	①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用 ⑧国家の領域と国境	・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで受けられていることを理解する。	○	○	○
	5	2節 國家の結びつきとグローバル化する社会	②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。 ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。	○	○	○
	6	第2編 國際理解と國際協力 1章 生活・文化の多様性と國際理解	①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候 ③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	・グローバル化の中で、人、「モノ」・資本の国際移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいた国際機関の変遷を学習する。 ・世界の気候帶ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。 ・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。	○	○	○
	7		⑩多様性に富んだ世界の人々との共生	・多様なアイデンティティに持つ世界の人々と共生していくためにには、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。	○	○	○
	9	第2編 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力 1節 持続可能な社会を目指して	①持続可能な開発目標(SDGs) ②地球的課題の地理的な側面	・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。	○	○	○
	10	2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて	①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題 ⑦技術革新と持続可能な産業化 ⑧限りある資源 ⑨エネルギー問題 ⑩都市・居住問題 ⑪海洋の環境問題	・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握し、多面的・多角的に考察している。	○	○	○
第2学期	10	3節 自然と調和した豊かな社会に向けて	⑪海洋の環境問題	・持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解し、身近な認証制度を調べ、まとめることができる。	○	○	○
	11	4節 現役世代と将来世代のための地球	①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ ⑤地球規模で見る地形の姿と自然災害 ⑥人々の暮らしを取りまく自然環境 ⑦変動的の自然と防災 ⑧湿润地域の自然と防災 ⑨私たちができる災害への備え	・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。 ・世界の民族とは、共通の帰属意識（アイデンティティ）を持つ集団であり、世界の多くの国は複数の民族により構成される多民族国家であり、多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば、内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。 ・自然災害の多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解するとともに、先人の知恵が結ばれた、災害に備え、災害と・自然災害からの復興を困難にする複合災害について具体的な事例を通して理解し、これまで学んだ対策を組み合わせて備えるために必要な知識を理解し、地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。	○	○	○
	12	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災	⑩私たちができる災害への備え	・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。	○	○	○
		2章 生活圏の調査と地域の展望	⑪地域調査の方法		○	○	○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
地理総合	2	2	
教科書番号・教科書名	副教材		
地理総合706『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』(第一学習社)	「新編 地理資料」(とうほう)		
学習の目標	地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。		
評価方法	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いている。 ・調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【定期考査】 	<p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目している。 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を培っている。 【発問評価、ノート提出、定期考査】 	<p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとできる。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を持つことができる。 【授業態度、発問評価】

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1編 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 球面上の世界と地図	①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用 ⑧国家の領域と国境	・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで受けられていることを理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5	2節 國家の結びつきとグローバル化する社会	②日本の領土とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。 ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、國家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6	第2編 國際理解と國際協力 1章 生活・文化的多様性と國際理解	①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候 ③「农」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	・グローバル化の中で、人、「モノ」・資本の国際移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学ぶ。 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	7	第2編 國際理解と國際協力 2章 地球的課題と国際協力 1節 持続可能な社会を目指して 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて	①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面 ③貧困問題 ④人口問題 ⑤食料問題 ⑥持続可能な水の利用 ⑦健康・福祉問題 ⑧教育・ジェンダー問題	・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。 ・多様なアイデンティティに持つ世界の人々と共生していくためには、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。 ・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	8	3節 自然と調和した豊かな社会に向けて	①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 ④都市・居住問題 ⑤地球温暖化問題 ⑥陸地の環境問題 ⑦海洋の環境問題	・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握し、多面的・多角的に考察している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	9	4節 現役世代と将来世代のための地球	①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ ⑤地球規模で見る地形の姿と自然災害 ⑥人々の暮らしを取りまく自然環境 ⑦変動の自然と防災 ⑧過渡地域の自然と防災 ⑨私たちができる災害への備え	・持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解し、身近な認証制度を調べ、まとめることができる。 ・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第2学期	10	5節 平和で公正な社会に向けて	①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ ⑤地球規模で見る地形の姿と自然災害 ⑥人々の暮らしを取りまく自然環境 ⑦変動の自然と防災 ⑧過渡地域の自然と防災 ⑨私たちができる災害への備え	・世界の民族とは、共通の帰属意識（アイデンティティ）を持つ集団であり、世界の多くの国は複数の民族により構成される多民族国家であり、多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば、内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。 ・自然災害が多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解するとともに、先人の知恵が詰まっている。災害と災害からの復興を困難にする複合災害について具体的な事例を通して理解し、これまで学んだ対策を組み合わせて備えるために必要な知識を理解し、地域調査の基本を身につける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	11	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災	①地域調査の方法	・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	12	2章 生活圏の調査と地域の展望			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年						
公共	2	2						
教科書番号・教科書名		副教材						
183第一 公共710・高等学校 公共		最新図説 公共(浜島書店)						
学習の目標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
評価の方法		①知識・技能 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から論理的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 【定期考查、小テスト】	②思考・判断・表現 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことの議論したりしている。 【定期考查、小テスト】	③主体的に学習に取り組む態度 上よい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【ノート、レポート】				
学習計画及び評価方法								
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法			
第1学期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	I 公共的な空間と人間とのかかわり 1社会に生きる私たち 2個人の尊厳・自主・自律 3多样性と共通性 4キャリア形成と自己実現	・人生の中で青年期はどのような意味をもつか。自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としてのあり方生き方にについて理解している。 ・伝統や文化とともに行動様式や価値観との関係について考察している。	○	○	○	
			II 社会に参画する自立した主体として 1伝統や文化とのかかわり 1人間としてのあり方生き方にについての探求	・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。	○	○	○	
			第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	2実社会の事例から考える～環境保護 3実社会の事例から考える～命倫理 II 選択・判断の手掛かりとなる倫理的価値 1公共的な空間を形成するための考え方 2よりよく生きる行為者として活動するために	・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方などについて理解している。 ・倫理的価値を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らもと共に納得できる解決方法を見いだすことに向けて、思考実験などを通じて、多面的・多角的な考察、表現している。	○	○	○
		第3章 公共的な空間における基本的原理	I 自立した主体となることについて 1人間の尊厳と平等 2個人の尊重 3民主政治の基本的原理 4法の支配 5自由・権利と責任・義務 II 上より公共的な空間づくりをめざして 1世界のおもな政治体制 2日本国憲法に生きる基本的原理	・公共的な空間でよりよく生きるために、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方にについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を開拓させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	
	6	第2編 自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち	第1章 法的な主体となる私たち	主題1 法や規範の意義と役割 1私たちの生活法 2法と基本的人権 3自由・平等と法・規範 4法によりよく変えていくために	・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調停できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考究、構想、表現している。	○	○	○
			2消费者の権利と責任	1さまざまな契約と法 2消費者の権利と責任	・自立して主体として解決が求められる具体的な主题を設定し、その主题の解決に向け事実を基に協働して考察したり構想したりすることを、論述をもって表現している。	○	○	○
		7	第2章 政治的な主体となる私たち	主題3 司法参加の意義 1裁判所と人権保障 主題4 政治参加と公正な世論の形成 1選挙の意義と課題 2政治参加と世論形成 3国会と立法	1司法参加の意義について、論述をもって表現している。 ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考究、構想し、表現している。	○	○	○
第2学期	9	4内閣と行政の民主化	5地方自治と住民の福祉	・地方自治には、直接民主制の考え方に基づいてが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。	○	○	○	
		5国際社会と国家主権	1国家と国際法 2国境と領土問題 3国際連合の役割と課題 主題6 日本の安全保障と防衛 1和平主義と安全保障 2核兵器の危険と国際平和	・国際法の意義と役割について、多面的・多角的な考察、構想し、表現している。	○	○	○	
	10	4今日の国際社会	2主題7 国際社会の変化と日本の役割	・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	
		2人種・民族問題と地域紛争	3国際社会における日本の役割 1選挙の意義と課題 2政治参加と世論形成	・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	
		第3章 経済的な主体となる私たち	3国会と立法	・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。	○	○	○	
第3学期	11	1市場経済と経済運営	2市場競争のしくみ 3経済発展と環境保全 4経済成長と国民福祉 主題11 金融のはたらき 1金融の意義と役割	・仕事をと生活との調和という観点から、雇用と労働問題に関する現実社会の事柄や課題を理解している。	○	○	○	
		1技術革新の進展と産業構造の変化	2企業の活動 3農林水産業の現状とこれから	・企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論述をもって表現している。	○	○	○	
		1市場経済の機能と限界	4市場経済の機能と限界	・農林水産業の現状と今後について、さまざまな情報を基に考察、構想し、論述をもって表現している。	○	○	○	
		1市場経済と経済運営	1市場競争のしくみ 3経済発展と環境保全 4経済成長と国民福祉	・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。	○	○	○	
	12	1政府の経済的役割と租税の意義	2市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○		
		2社会保障と国民福祉	4経済成長と国民福祉 主題13 経済のグローバル化	・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。	○	○	○	
		1国際分類と国際貿易体制	1国際収支と為替相場 3経済のグローバル化と日本	・国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。	○	○	○	
		2国際貿易と為替相場	4地域的経済統合の動き 5国際社会における貧困や格差 6地球環境問題 7資源・エネルギー問題	・地理など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ、多面的・多角的な考察、表現している。	○	○	○	
2	8国際社会のこれから	①地床環境問題へ排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題へベストミックスを考える ③生命倫理へグローバル集会を考える ④情報へインターネットによる投票を考える	・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。	○	○	○		
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・課題の解決に向けて事実を基に協働して考究、構想し、妥当性や効率、実現可能性などを指標にして、論述を基に自分の考えを説明、論述している。	○	○	○		

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	教科書番号・教科書名
化学基礎	2	2	7 実教 化基 704 ・ 化学基礎

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への关心を高める。 目的意識をもって観察や実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育む。 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。 		
評価の方法	<p>①知識・技能 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができるか。</p>	<p>②思考・判断・表現 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。</p>

単元名	学習内容	学習到達目標	①	②	③
4月 第1章 物質の構成 第1節 物質の探究	物質の分類と性質 物質と元素 物質の三態と熱運動	混合物と純物質の違いや混合物の分離方法を理解する。 元素の意味を理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化について理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
5月 第2節 物質の構成粒子 第2章 物質と 化学結合 第1節 イオン結合	原子の構造 イオンの生成 元素の周期表 イオン結合とイオン結晶 イオン結合からなる物質	原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 原子の電子配置と周期表の関係について理解する。 イオンの生成やイオン結合の形成のしくみを理解する。 組成式の作り方を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
6月 第2節 共有結合と 分子間力 第3節 金属結合 第4節 化学結合と 物質	共有結合と分子 分子間力と分子結晶 共有結合からなる物質 金属結合と金属結晶 金属 結晶の分類 化学結合と身のまわりの物質	分子中の原子の結合及び分子の構造を表す方法を理解する。 共有結晶について理解する。 金属について理解する。 身のまわりにある物質の構造について理解する	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
7月・9月・10月 第3章 物質の変化 第1節 物質量と 化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応式	原子量や物質量の定義について理解する。 溶液の濃度の表し方を理解する。 化学反応式やイオン反応式の書き方を理解する。 化学反応式が表す量的関係を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
11月・12月 第2節 酸と塩基	酸と塩基 酸と塩基の分類 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩	酸・塩基の定義や酸性・塩基性について理解する。 水素イオン濃度とpHの関係を理解する。 中和反応と塩の生成を理解する。 中和滴定の計算を理解する。 塩の性質を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
1月 第3節 酸化還元反応	酸化と還元	酸化還元反応が電子の授受による反応であることを理解する。	○ ○	○ ○	○ ○
2月	酸化剤と還元剤 金属の酸化還元	酸化剤と還元剤の定義を知り、両者の反応が酸化還元反応であることを理解する。 各金属のイオン化傾向と反応性の関係を理解する。	○ ○		○ ○
3月	酸化還元反応の応用	日常生活や社会との関わりの例として電池や金属の精錬を理解する。	○	○	○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	教科書番号・教科書名
化学基礎	2	2	104 数研 化基 708 ・ 化学基礎

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高める。 目的意識をもって観察や実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育む。 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。 		
評価の方法	<p>①知識・技能 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。</p>	<p>②思考・判断・表現 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。</p>

単元名	学習内容	学習到達目標	①	②	③
4月 第1編 物質の構成と 化学結合 第1章 物質の構成	純物質と混合物 物質とその成分 物質の三態と熱運動	混合物と純物質の違いや混合物の分離方法を理解する。 元素の意味を理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化について理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
5月 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	原子とその構造 イオン 周期表 イオン結合 分子と共有結合	原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 原子の電子配置と周期表の関係について理解する。 イオンの生成やイオン結合の形成のしくみを理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
6月 第3章 粒子の結合 第2編 物質の変化 第1章 物質量と 化学反応式	分子間にはたらく力 共有結合結晶 金属結合 原子量・分子量・式量	組成式の作り方を理解する。 分子中の原子の結合及び分子の構造を表す方法を理解する。 金属について理解する。 原子量や物質量の定義について理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
7月 第1章 物質量と 化学反応式	物質量 化学反応式と物質量	溶液の濃度の表し方を理解する。 化学反応式やイオン反応式の書き方を理解する。 化学反応式が表す量的関係を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○
9月 第2章 酸と塩基の反応	酸と塩基 水の電離と水溶液のpH	酸・塩基の定義や酸性・塩基性について理解する。 水素イオン濃度とpHの関係を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○
10月 第2章 酸と塩基の反応	中和反応 塩	中和反応と塩の生成を理解する。 中和滴定の計算を理解する。 塩の性質を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○
11月 第3章 酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応	酸化還元反応が電子の授受による反応であることを理解する。 酸化剤と還元剤の定義を知り、両者の反応が酸化還元反応であることを理解する。	○ ○		○ ○
12月 第3章 酸化還元反応	酸化還元反応の利用	各金属のイオン化傾向と反応性の関係を理解する。 日常生活や社会との関わりの例として電池や金属の精錬を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
地学基礎	2	2	
教科書番号・教科書名	副教材		
104数研 地基704 高等学校 地学基礎	数研出版 チェック&演習 地学基礎		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。 地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育む。 地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。 		
評価方法	<p>①知識・技能 地球の構造、宇宙、海洋や気象、地球史について、知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【定期考查、レポートなど】</p>	<p>②思考・判断・表現 地球の構造、宇宙、海洋や気象、地球史について、習得した「知識・技能」を活用して課題を解決したり、日常生活と結びつけたりできる思考力・判断力・表現力を身につけているか。 【定期考查、レポートなど】</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。【レポート、発表など】</p>

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造	地球の形と大きさ 地球の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の大きさや形を知り、その計算ができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	5	第2章 プレートの運動	プレートテクトニクスと地殻変動 プレート運動のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ・地球内部の構造を知り、その解析方法を説明できる。 ・プレートテクトニクスの概念を理解し、それが地球表面のさまざまな地学現象と結びついていることを説明できる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6	第3章 地震	地震 地震の分布 地震災害	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の発生原理や分布の偏りを知り、将来の地震災害を予想して自分なりの対策を立てられる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6	第4章 火山	火山活動 火成岩	<ul style="list-style-type: none"> ・火山活動の原理や分布の偏りを知り、火山活動によって生まれた岩石の分類ができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			火山がもたらす恵みと災害	<ul style="list-style-type: none"> ・火山による災害と恩恵の両面を考察し、説明できる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	7	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成	堆積作用と堆積岩 地層の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地層の形成メカニズムを知り、それが地球史の解説に繋がっていることを説明できる。 	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
第2学期	9	第2章 古生物の変遷と地殻環境	化石と地質年代の区分 古生物の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・地質年代の区分を知り、古生物がどのように移り変わってきたか説明できる。 	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	10	第3章 大気と海洋 第1章 地球の熱収支	大気の構造 地球全体の熱収支	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の層構造を知り、立体構造を説明できる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	11	第2章 大気と海水の運動	大気の大循環 海水の運動 日本の天気と気象災害	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋の繋がりを知り、相互の関係が地球環境に影響を与えていることを知る。 ・得られた知識をもとに天気予報や気象警報の見方を理解して日常生活にフィードバックできる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	12	第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と日本の自然環境	気候の自然変動 人間活動による環境変化 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動の例を知り、それが今後どんな影響を人類に与えるか考察する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第3学期	1	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽	太陽系の天体 太陽 太陽系の誕生と現在の地球	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系のしくみを知り、気候変動や生物の進化は宇宙的規模の影響を受けていることを説明できる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	2	第2章 宇宙の誕生	宇宙の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグバン理論を知り、その理論がなぜ生まれたかを簡潔に説明できる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	3						

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年				
体育	2単位	2学年				
教科書番号・教科書名	副教材					
50 大修館 保体701 現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート					
学習の目標	体育の見方・考え方を磨かせ、課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続とともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るために資質・能力を育成する。					
評価の方法	<p>①知識・技能</p> <p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解したり、それらの技能を身につけたりしている。 ・実技テスト、知識テストなど</p>	<p>②思考・判断・表現</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けた思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・課題レポート、グループ活動の発言など</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、運動に親しんでいる。 ・学習状況(意欲、態度、グループ活動、準備、片付け等)の観察</p>			
学習計画及び評価方法						
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法	
第1学期	4	A 体つくり運動 C 陸上競技	休ほぐし運動、体力を高める運動 長距離走 新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで走っている。 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 富山県の平均、または、過去の記録を参考に自分の設定した目標記録を達成しようとしている。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	5	選択体育① E 球技	サッカー ソフトボール テニス バレー・ボール	B 器械運動 <ul style="list-style-type: none"> 技ができる楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解する。 自己に適した技で演技することができる。 技などの自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。 自己の考えたことを他者に伝えることができる。 器械運動の学習に自主的に取り組み、よい演技を競たたえることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもつ。 健康や安全を確保することができる。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	6	H 体育理論	スポーツの発祥と発展	E 球技 <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解する。 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 攻防などの自己やチームの課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 球技の学習に自主的に取り組み、作戦などについての話合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもつ。 健康や安全を確保することができる。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	7	選択体育② E 球技	ソフトボール テニス サッカー バレー・ボール	G ダンス <ul style="list-style-type: none"> 攻防などの自己やチームの課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ダンスの学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にすることなどに意欲をもつ。 健康・安全を確保することができる。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	第2学期	9			H 体育理論 <ul style="list-style-type: none"> スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
		10				<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
	11	選択体育③ E 球技 G ダンス	バスケットボール バドミントン 卓球 ダンス		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
第3学期	1	選択体育④ B 器械運動 E 球技	マット運動 バスケットボール バドミントン 卓球 バレー・ボール	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を見出し、よりよい解決に向けて思考し判断しようとしているとともに、他者に伝えることができる。 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組んでいる。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	2	H 体育理論	運動・スポーツの学び方		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	3	H 体育理論	豊かなスポーツライフの設計		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年			
保健	1	2			
教 科	書番号・教科書名	副 教 材			
50 大修館 保体701 現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート				
学習の目標			保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自己や社会の課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自己の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
評価方法			①知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けています。 ・定期考査、知識小テスト ②思考・判断・表現 健康についての自己や社会の課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 ・定期考査、課題レポート、ノート内容 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じて自己の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。 ・学習状況(意欲、態度、グループ活動等)の観察、ノート内容		

学習計画及び評価方法

学 期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	生涯を通じる健康	1ライフステージと健康 2思春期と健康 3性意識と性行動の選択	・各ライフステージによって健康課題が変化することを具体的に説明している。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげている。 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明している。 ・思春期の心の発達にいかわって起こる健康問題について例をあげている。 ・性意識の男女差について具体的な例をあげて説明している。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげている。	○	○	○
	5		4妊娠・出産と健康 5避妊法と人工妊娠中絶	・妊娠・出産の過程における健康課題をあげ、年齢や生活習慣との関わりを含めて説明している。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげている。 ・家族計画の意義と安全で確実な避妊法について説明している。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明している。	○	○	○
	6		6結婚生活と健康 7中高年期と健康	・性機能の発達や健康に対する責任感、良好な人間関係など心身の発達が結婚生活の要件となることを説明している。 ・結婚生活を送るために必要な考え方や行動を五つの健康状態の把握、良好な生活习惯、良好な人間関係の面からあげている。 ・加齢とともに心身の変化について、機能や形態の面から例をあげて説明している。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策などの例をあげて説明している。	○	○	○
	7		8働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかかわりについて、ライフステージごとに説明している。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について、具体例をあげて説明している。	○	○	○
	9		9労働災害と健康 10健康的な職業生活	・労働災害の種類とその原因について、労働中の事故と職業病からそれぞれ例をあげて説明している。 ・労働災害を防止するために必要なことを、安全管理と健康管理の面からあげている。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて、メンタルヘルスケアやハラスマント対策の例をあげて説明している。 ・余暇を積極的にとることの意義について、生活の質の向上や健康の保持増進の面から説明している。	○	○	○

第2学期	10	健康を支える環境づくり	1大気汚染と健康 2水質汚濁、土壤汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明している。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について、酸性雨やオゾン層破壊などの例をあげて説明している。 ・水質汚濁、土壤汚染の原因とその健康影響を説明している。 ・大気、水、土壤にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明している。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	11		3環境と健康にかかわる対策 4ごみの処理と上下水道の整備 5食品の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明している。 ・産業廃棄物の処理について、課題と対策を説明している。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明している。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明している。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明している。 ・食品の安全性に関する今日的課題について、食中毒、食品添加物、輸入食品、食物アレルギーの面から説明している。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	12		6食品衛生にかかわる活動 7保健サービスとその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明している。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について、食品情報の活用や安全な食品の選択の面から説明している。 ・保健行政の役割について例をあげて説明している。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第3学期	1		8医療サービスとその活用 9医薬品の制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における医療保険のしくみについて説明している。 ・さまざまな医療機関の役割について説明している。 ・医薬品の種類と正しい使用法について説明している。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明している。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2		10さまざまな保健活動や社会的対策	<ul style="list-style-type: none"> ・国際機関・民間機関などの保健活動について、機関とその活動の例をあげて説明している。 ・行政機関による社会的対策について、具体例をあげて説明している。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3		11健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進のための環境づくりについて、ヘルスプロモーションの考え方に基づいて説明している。 ・環境づくりへの主体的な参加が自分の健康づくりにつながることを具体例をあげて説明している。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年			
情報 I	2	2			
教科書番号・教科書名	副教材				
7 実教 情報 I 704 高校情報 I JavaScript					
学習の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働きかせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度			
評価方法	情報と情報技術の問題を発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けていくとともに、情報化の進展する社会の特質およびそのような社会と人間の関わりについて理解している。 【定期検査、小テスト、レポート、グループディスカッション、プレゼンテーション、作品など】	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 【定期検査、小テスト、レポート、グループディスカッション、プレゼンテーション、作品など】	情報社会との関わりについて考えながら、情報の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとしている。 【レポート、ふりかえりシート、作品など】		
学習計画及び評価方法					
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法
第1学期	4 5	第1章 情報社会	1. 情報と情報社会	・情報の定義や分類、特徴について理解している。	① ○ ○ ○
			2. 問題解決の考え方	・問題解決の考え方を理解し、問題を手順に分け手解決するための手法について考えることができる。	② ○ ○ ○
			3. 法規による安全対策	・情報セキュリティについて理解している。 ・法規による安全対策について理解している。 ・情報漏洩とその対策について学ぶ。	③ ○ ○ ○
			4. 個人情報とその扱い	・個人情報とプライバシーについて理解し、個人情報を適切に活用することができる。	○ ○ ○
			5. 知的財産権の概要と産業財産権	・著作権と産業財産権の違いについて理解し、知的財産権の問題に問い合わせ、主体的に意欲的に取り組むことができる。	○ ○ ○
			6. 著作権	・著作権(財産権・人格権)について学び、適切な態度で利用しようとすることができる。	○ ○ ○
	6	第2章 情報デザイン	7. コミュニケーションとメディア	・コミュニケーションの形態の分類や手段の特性について学び、メディアリテラシーを養う。	○ ○ ○
			8. 情報デザインと表現の工夫	・メディアの特性を踏まえて、視覚的な工夫をすることができる。	○ ○ ○
			9. Webページと情報デザイン	Webページの設定や構成について学び、複数のメディアを統合して表現することができる。	○ ○ ○
		第2学期	7 9 10	第3章 デジタル	10. デジタル情報の特徴
11. 数値と文字の表現	・目的に応じて進数変換し、単位に注意しながら、情報量を算出したり数や文字を適切に表現したりすることができる。				○ ○ ○
12. 演算の仕組み	・論理回路について学び、身の回りのシステムがどのような解離で動いているか表現することができる。				○ ○ ○
13. 音の表現	・音や画像のデジタル化について学び、その処理ソフトを使うことができる。				○ ○ ○
14. 画像の表現	・コンピュータの構成について学び、目的に応じてハードウェアのスペックを選んだり、適切なソフトウェアを選択することができる。				○ ○ ○
15. コンピュータの構成と動作	・身近なコンピュータシステムについて学び、インターネットの仕組みについて積極的に知識を得ようとする態度を持つことができる。				○ ○ ○
11	第4章 ネットワーク		16. コンピュータの性能	・データの収集・分析・活用に関する知識や技術について学び、解決したい問題に合わせて活用することができる。	○ ○ ○
			17. ネットワークプロトコル	・身近なコンピュータシステムについて、どのような仕組みでデータが活用されているか学び、適切にデータを収集することができる。	○ ○ ○
			18. インターネットの仕組み		○ ○ ○
			19. Webページの閲覧とメールの送受信		○ ○ ○
		20. 情報システム		○ ○ ○	
12	第5章 問題解決	21. 情報システムを支えるデータベース	・様々な形態の情報を合わせて、適切な安全対策を講じることができる。	○ ○ ○	
		22. データベースの仕組み		○ ○ ○	
		23. 個人による安全対策		○ ○ ○	
		24. 安全のための情報技術		○ ○ ○	
		25. データの収集と整理		○ ○ ○	
第3学期	1 2 3	第6章 プログラミング	26. ソフトウェアを利用したデータの処理	・アルゴリズムとプログラミングについて学び、作成したプログラムが正しく動作するか考察することができる。	○ ○ ○
			27. 統計量とデータの尺度		○ ○ ○
			28. 時系列分析と回帰分析		○ ○ ○
			29. モデル化とシミュレーション		○ ○ ○
			30. アルゴリズムとプログラミング		○ ○ ○
31. プログラミングの基本		○ ○ ○			
32. 配列		○ ○ ○			
33. 関数		○ ○ ○			
34. 探索のプログラム		○ ○ ○			
35. 配列のプログラム		○ ○ ○			